

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 タカセ株式会社  
 コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大宮司 典夫  
 (氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,390	0.6	53	92.3	54	78.8	29	—
23年3月期第1四半期	2,377	△5.4	27	△67.2	30	△65.3	△58	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 28百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.86	—
23年3月期第1四半期	△5.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	10,784	7,470	69.3	733.08
23年3月期	10,537	7,538	71.5	739.77

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,470百万円 23年3月期 7,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	10.50	10.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,870	△0.6	170	△6.1	170	△1.1	100	—	9.81
通期	10,000	2.8	340	△21.1	340	△17.8	200	84.6	19.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

なお、当第1四半期連結会計期間より、高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社について、重要性が増したため、連結範囲に含めることにいたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,545,133 株	23年3月期	10,545,133 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	355,066 株	23年3月期	355,066 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,190,067 株	23年3月期1Q	10,233,867 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく連結財務諸表の監査手続が実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記予想に関する事項は、2ページ【1. 当四半期決算に関わる定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報】をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①一般概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動や経済活動の停滞に加え、電力供給問題などにより、景気の先行きが不透明な状況となっております。

当社グループの属する物流業界は、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下という厳しい環境基調の中で、震災による個人消費の減少やサプライチェーンの寸断による顧客企業の生産・販売量の減少、さらには輸出量も大きく縮小するなどの状況に陥り、いっそう厳しい環境に立ち至っております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げてきましたが、高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社について重要性が増したことから、新たに連結範囲に含めることにいたしました。今後とも、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすことを目指して効率化に努めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は前年同期間と比較して0.6%増の23億90百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、これまで進めてきた作業部門における運営体制改善や業務量に応じた人員投入と作業効率向上、運送事業分野での不採算業務の効率化などのコスト改善を推進したことに加え、残業の削減など経費削減に強力に取り組んだことにより、営業利益は前年同期間と比較して92.3%増の53百万円となり、経常利益は前年同期間と比較して78.8%増の54百万円となりました。前第1四半期連結累計期間では、特別損失項目において、投資有価証券評価損および役員退職慰労金等1億30百万円の計上がありましたが、当第1四半期連結累計期間は1百万円の計上のみとなりました。このため四半期純利益は29百万円(前年同期間は58百万円の純損失)となりました。

## ②報告セグメントの概況

- A. 総合物流事業におきましては、震災の影響による輸出取扱業務の減少および一部顧客の撤退等による減少があったものの、新たに高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社を連結範囲に含めたこと、また主力の音楽映像分野の商品取扱業務が拡大したことによって、営業収益は前年同期間と比較して0.9%増の23億54百万円となりました。また、営業総利益は、震災の影響による一時的な保管コストの増加があるものの、上記子会社2社を連結範囲に含めたことや、残業の削減など経費削減に強力に取り組んだことによって、前年同期間と比較して22.4%増の2億77百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、国内顧客の新規業務獲得による取扱量増があったことから、営業収益は前年同期間と比較して5.3%増の3億13百万円となりました。また、営業総利益は、不採算業務の効率化などのコスト改善を推進したものの、料金低下による収支採算が悪化したため、前年同期間と比較して38.6%減の8百万円の計上に止まりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工(倉庫内オペレーション)分野を担っており、震災等の影響のほか、一部顧客の撤退等により、国内顧客の業務取扱量が総じて前年同期間までの回復にまでは至っておらない状況のため、営業収益は前年同期間と比較して2.9%減の3億26百万円となりました。また、営業総利益は、作業部門における運営体制改善や業務量に応じた人員投入と作業効率向上を推進したものの、営業収益減による利益減少を補えきれず、前年同期間と比較して6.3%減の24百万円の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

A. 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円(2.3%)増加し、107億84百万円となりました。

この主な要因は、新たに高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社を連結範囲に含めたことによるもののほか、現金及び預金が2億7百万円増加し、投資有価証券が88百万円減少したことによるものであります。

B. 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億15百万円(10.5%)増加し、33億14百万円となりました。

この主な要因は、資産と同様、新たに高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社を連結範囲に含めたことによるもののほか、短期借入金が1億69百万円増加し、流動負債のその他項目で設備未払金等が1億13百万円増加したことによるものであります。

C. 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円(△0.9%)減少し、74億70百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益による増加29百万円、新規連結に伴う増加額24百万円、前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億6百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社について、重要性が増したため、連結範囲に含めることにいたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,910,973	3,118,028
受取手形及び売掛金	1,149,116	1,119,508
原材料及び貯蔵品	12,869	13,055
前払費用	34,464	52,693
繰延税金資産	62,762	78,337
その他	127,754	185,640
貸倒引当金	△1,579	△1,526
流動資産合計	4,296,362	4,565,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,890,909	7,952,477
減価償却累計額	△5,501,446	△5,547,941
減損損失累計額	△52,617	△52,617
建物及び構築物（純額）	2,336,845	2,351,918
機械装置及び運搬具	2,061,906	2,127,096
減価償却累計額	△1,947,761	△1,989,090
機械装置及び運搬具（純額）	114,145	138,005
土地	2,247,702	2,247,702
その他	356,627	357,418
減価償却累計額	△301,297	△304,024
その他（純額）	55,330	53,393
有形固定資産合計	4,754,022	4,791,019
無形固定資産		
借地権	449,043	449,043
その他	75,592	73,494
無形固定資産合計	524,635	522,537
投資その他の資産		
投資有価証券	537,699	448,845
繰延税金資産	206,034	209,448
その他	231,945	259,886
貸倒引当金	△12,916	△12,510
投資その他の資産合計	962,761	905,669
固定資産合計	6,241,420	6,219,226
資産合計	10,537,783	10,784,963

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	508,100	504,908
1年内償還予定の社債	220,000	220,000
短期借入金	646,000	815,876
未払費用	163,971	202,116
未払法人税等	66,065	43,497
賞与引当金	87,173	139,738
役員賞与引当金	21,000	5,750
その他	82,932	196,506
流動負債合計	1,795,243	2,128,393
固定負債		
社債	520,000	520,000
長期借入金	50,000	37,500
退職給付引当金	557,415	555,134
役員退職慰労引当金	64,737	61,662
その他	12,107	12,107
固定負債合計	1,204,260	1,186,404
負債合計	2,999,503	3,314,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	3,312,747	3,259,346
自己株式	△100,995	△100,995
株主資本合計	7,515,601	7,462,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,473	42,090
為替換算調整勘定	△25,795	△34,125
その他の包括利益累計額合計	22,677	7,965
純資産合計	7,538,279	7,470,165
負債純資産合計	10,537,783	10,784,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	2,377,438	2,390,963
営業原価	2,097,059	2,082,289
営業総利益	280,379	308,673
販売費及び一般管理費	252,709	255,460
営業利益	27,670	53,213
営業外収益		
受取利息	280	213
受取配当金	9,137	9,774
受取賃貸料	1,127	1,072
その他	2,056	1,215
営業外収益合計	12,602	12,275
営業外費用		
支払利息	7,266	6,608
支払補償費	797	2,768
その他	1,510	1,218
営業外費用合計	9,574	10,594
経常利益	30,697	54,893
特別利益		
固定資産売却益	474	166
貸倒引当金戻入額	1,008	—
投資有価証券売却益	23,139	—
特別利益合計	24,622	166
特別損失		
固定資産除売却損	37	1,099
投資有価証券評価損	51,430	—
役員退職慰労金	58,300	—
保険解約損	10,547	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,840	—
特別損失合計	130,154	1,099
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△74,833	53,961
法人税、住民税及び事業税	16,090	39,416
法人税等調整額	△32,366	△14,608
法人税等合計	△16,276	24,807
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,557	29,153
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,557	29,153



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△58,557	29,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,317	△6,382
為替換算調整勘定	906	5,324
その他の包括利益合計	△15,410	△1,058
四半期包括利益	△73,967	28,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,967	28,095
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,325,449	26,798	16,701	2,368,949	8,489	2,377,438
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	7,192	270,832	319,761	597,787	33,667	631,454
計	2,332,642	297,631	336,463	2,966,736	42,156	3,008,893
セグメント利益	226,941	13,326	26,649	266,918	6,542	273,460

	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,377,438
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△631,454	—
計	△631,454	2,377,438
セグメント利益	6,918	280,379

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額6,918千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,347,302	25,404	8,171	2,380,878	10,085	2,390,963
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	7,449	288,135	318,636	614,221	35,317	649,538
計	2,354,752	313,539	326,807	2,995,100	45,402	3,040,502
セグメント利益	277,732	8,187	24,972	310,891	5,013	315,905

	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,390,963
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△649,538	—
計	△649,538	2,390,963
セグメント利益	△7,231	308,673

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△7,231千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。